



鶴からの手紙

真鶴中学校だより 第二五六号

2023
10.31
責任者
市川 麻美

「Active-」

十月二十日(金)、令和五年度学習活動発表会、来賓・地域の皆様にもご来校いただき「大成功」となりました。

生徒会テーマ「Active」を意識し、それぞれの学年の大きな成長とこれまでの学習活動の成果をとっても感じることができました。

実は、これまでの練習・準備を一生懸命行っていた三年生の中に、直前で欠席しなくてはならなくなった数名の生徒がいたのです。その無念をしっかりと引き受け、代役も含めてやりきってくれた三年生。感謝です。ありがとうございました。大変立派な姿でした。

各学年の「総合的な学習の時間」の発表は学年のカラーがよく出ていました。委員会・部活動の発表も工夫されていました。そして各クラスの合唱、練習を重ね、努力したことがよくわかりました。全校合唱も小学生にも参加してもらって素敵なものとなりました。今年度も『真鶴中の伝統』



「学習活動発表会を終えて」

がさらに上書きされ、つながりました。胸が熱くなりました。いつも感動をありがとうございました。

学習活動発表会は生徒全員で作上げた行事です。その中でも部活動や係などで中心となった生徒の言葉をいくつか、今号と次号で紹介していきます。

『実行委員長』

様々な制限が緩和されてきた中で行われた学習活動発表会。どの学年も思い出が残ったと思います。一年

生は仲間と作り上げる初めての発表会、どうでしたか？もし、「もっとすればよかった」ということがあれば、来年にいかしてください。二年生は、工夫をこらした総合の発表、そして、合

唱は綺麗な歌声でしたね。そして、私たち三年生は中学校最後の行事です。クラスのみんなが力を合わせて、素晴らしい発表ができたと思います。わたしは、この学習活動発表会というの、先輩から受け継がれたものを、後輩に渡す会でもあると思います。例えば、全校合唱「いつまでも」です。この歌は、先輩達からずっと歌い継がれてきました。真鶴中学校にぴったりの歌だと思います。これからみんな楽しく毎日が思い出に残る学校を創っていきましょう。

三年一組 付娜

『吹奏楽部』

私は、学習活動発表会を終えて感じたことがあります。

それは、夏のコンクールでできなかった課題や反省を活かし学習活動発表会に向けて練習ができたことです。コンクールでは、自分の音をはっきり出すことができませんでした。なぜかという、大きなホールでの演奏はとても緊張したからです。それを踏まえて学習活動発表会の練習では、みんなで合奏する回数を増やして、曲を仕上げていきました。そして、本番ではやはり緊張し、音を間違ってしまった、全体のリズムが乱れてしまったりしていました。

それを受けて、みんなそれぞれの課題や次に向けての目標が決まったと思います。わたしはそれを、十一月にある「アンサンブルコンテスト」という大会に活かそうと思いました。



課題や次に向けての目標が決まったと思います。わたしはそれを、十一月にある「アンサンブルコンテスト」という大会に活かそうと思いました。

二年一組 尖 花菜

『一年総合』

私は中学校の学習活動発表会は初めてだったので、最初は分からないことだらけでした。

小学校六年生の時に見学に来た時は、楽しそうだなと思っていました。が、実際に原稿やスライド作りをしてみると思いのほか大変だったことが分かりました。

そして、中学校最初の学習活動発表会は、自分たちで作りに上げたものが、ステージ上のスクリーンに映し出されました。自分が発表するのは緊張感や少し恥ずかしさもありました。

このような発表の機会はまだあるので、その時は今回発表したものよりも、もっと上手にできたらいいなと思います。

一年一組 大和田 千晴

「学校保健委員会」を終えて

先月号で少し触れましたが、九月二十七日に、学校保健委員会が開催されました。テーマは「自分らしく生きる」多様性を認め合える真中生へ」でした。参加した各学年の感想を紹介します。

今年の学校保健委員会のテーマは、自分らしく生きる多様性を認め合える真中生へ」でした。当日、多様性のことについて話を深めていくために、個人で作業をする時間や意見をみんなで交換する時間をつくりました。事前に保健委員で話し合っ

て出た意見とは違う色々な意見が出ていて、一人ひとり違いがあることが分かりました。

そして、この学校保健委員会でSOGIEなどの色々な言葉を知って



もらえたと
思います。
私は最初、
多様性とい
う言葉の意
味すら知り
ませんでした
が、この学
校保健委員
会を終えて、

多様性の意味以外にも多くのことを知りました。今後は友達やこれから出会う人との関わり方にも気を付けていこうと思います。

一年一組 原 夏海

私は、前に立って発表をするのが苦手なので、学校保健委員会とはとても不安で緊張しました。実際、発表中も焦って早く話してしまっているなど感じました。だから途中で、ゆっくり意識して話すように心がけました。

私は、人の前に出て発表をする機会が、今まであまりなかった中で、良い経験になりました。みんなにも、多様性について知ってもらうことができて良かったと思います。

二年一組 青木 淳希

私は、学校保健委員会で「多様性」について考えてみて、これが男、これが女、男だから、女だからなどの思い込みがなくなればいいなと感じました。会の中でアライグマに色を塗りました。塗った後に他の人の物を見たとき、似ているところはあっても全く同じ人はいませんでした。そこで、一人ひとり考え方や感じ方が違うのは当たり前だと改めて思いました。

今回の学校保健委員会を通して、自分の考えを押しつけるのではなく、相手の考えを受け入れて人と接していきたいと思いました。「多様性」がより認められ、一人ひとりが生きやすくなるように心がけて生活したいです。

三年一組 松本 菜楓

「町民運動会のボランティアを終えて」

今回ボランティアとして参加して思ったことが二つあります。

一つめは、町の温かさです。子どもから大人まで色々な方が参加していて、じゃんけんをしたり、バトンを繋いだりして、皆笑顔に

なっていま

した。自治

会関係なし

に応援して

いる方もい

て、心が温

かくなりま

した。

二つめ

は、関係役

員の大変さ

です。私は

放送委員を

やらせてい

ただき、台

本を読む練

習をしてい

たら、皆さ



またボランティアで参加する機会があれば、皆さんの負担を少しでも減らしたいと思っています。

一年一組 上田 愛佳莉

心に本の種を蒔こう ～図書室の本棚から～

JR 東海の「そうだ京都、行こう」のテレビCMを見たことがある人は多いのではないかと思います。旅人目線の歩く速度で流れる映像、俳優長塚京三さんのナレーターと「マイ・フェイバリット・シングス」のBGMが絶妙です。

「そうだ京都、行こう」の広告で使われた20年分のポスター写真とコピーを抜粋したこの1冊を見てみると、自然と頭の中に京塚さんの声と音楽が流れてきます。そして、また京都に行ってみたくなるのです。

(『「そうだ京都、行こう」の20年」ウェッジ編)

